



教育学研専の現在までの道のり

Historical Development of
Educational Technology Technical Committee for 50 Years

松原行宏

1. 教育学 (ET) 研専の 50 年

本研専は 1967 年 11 月に発足し (当初は「教育技術研専」, 1985 年 4 月から「教育学研専」), 間もなく 50 年を迎えようとしている (表 1)。歴史と伝統のある研専であり委員長も筆者で第 19 代目となる。これまで教育, 学習の場における様々な理論や支援技術を開発して研究会の場で発信し, 多くの成果を教育の分野に還元してきた。

教育学研究の特徴として‘ひと’ (学習者や教授者) を含めた系でシステムを設計することが重要であり, その点が研究の面白さでありまた難しさでもある。‘ひと’の行動や振舞いは必ずしも一貫しておらず, 不安定な系だからである。また学習行為に伴って変化 (成長) が生

じ, 振舞いが変化していく。これらの変化に追従したシステム設計, モデルの同定が必要となり, その難しさこそが研究の意欲をかき立てる源泉である。

本研専の基本的な活動は, 年 9 回の研究会を企画して開催することであり, 毎月日本各地を回って研究会を実施している。各地域に密着した教育学分野のホットなテーマ (例えば, 学習データ蓄積, e-learning, プログラミング教育, モバイルユビキタス技術, 身体知やスキル学習, クラウド技術と教育活用, 学習支援のユニバーサルデザイン, 知的学習支援, 特別支援教育など) が設定され, 毎回活気のある議論が展開されている。

(平成 29 年 5 月 17 日受付)

表 1 発足時からの運営の変遷

年度	委員長	副委員長	幹事	幹事補佐	年度	委員長	副委員長	幹事	幹事補佐
1967	川上正光		末武国弘	【発足】	1996			浮貝雅裕	
1970			藤田広一		1997	磯本征雄			三輪和久
1971	中村元和				1998			宮寺庸造	
1972			坂元 昂		1999	渡辺成良	米沢宣義		佐々木 整
1974			山口昭穂		2001	福原美三		桑田正行	
1975	末武国弘				2002		中村直人	松原行宏	鈴木栄幸
1976			森岡 昭		2003	米沢宣義		佐々木 整	
1977			清水康敬		2005	永岡慶三			
1979	阿部善右衛門				2006		赤倉貴子	鈴木栄幸	藤原康宏
1980			松山 実		2007	横山節雄		中村勝一	
1981			菊川 健		2008			松原行宏	
1983			永岡慶三		2009	渡邊豊英		小尻智子	
1984	宇都宮敏男				2010		宮寺庸造		森田裕介
1985			伊藤紘二	【名称変更】	2011	中村直人		渡辺健次	
1987			岡本敏雄		2012		小西達裕	國宗永佳	森本容介, 西尾典洋
1989	清水康敬		竹谷 誠		2013	赤倉貴子		光原弘幸	東本崇仁
1991	坂元 昂		赤堀侃司		2014		小尻智子	長谷川 忍	後藤田 中
1992			米沢宣義	中村直人	2015	松原行宏		鷹岡 亮	立岩佑一郎
1993	伊藤紘二				2016		中村勝一	東本崇仁	中山祐貴
1994			中村直人	松居辰則	2017	宮寺庸造		森本容介	倉山めぐみ
1995	岡本敏雄	田村武志							

松原行宏 正員: シニア会員 広島市立大学大学院情報科学研究科知能工学専攻
E-mail matsubar@hiroshima-cu.ac.jp
Yukihiro MATSUBARA, Senior Member (Graduate School of Information Sciences, Hiroshima City University, Hiroshima-shi, 731-3194 Japan).
電子情報通信学会誌 Vol.100 No.10 p.1088 2017 年 10 月
©電子情報通信学会 2017



まつばら ゆきひろ
松原 行宏 (正員: シニア会員)

昭 63 広島大・工・第二類卒。平元同大学院博士課程前期了。同年広島大・助手, 平 10 香川大・助教授を経て, 平 15 広島市立大・教授, 現在に至る。知識工学, 教育学の研究に従事。工博。平 27~28 年度教育学研究専門委員長など。